

第7章 整備計画の実現に向けて

7-1 それぞれの主体が果たすべき役割

地域住民の役割

地域に暮らす住民が“街づくりの主役”であることを認識して街づくりに関心を持ち、主体的・積極的に整備プログラムに示す取組を進め、“一人一人が参加し支え合う街づくり”を実践します。

事業者の役割

“街の賑わいや活力を生み出す重要な役割”を担い、町会や商店会、地域住民等と連携・協力して地域の魅力をさらに向上させる街づくり活動を推進します。

また、事業活動の中で培ったノウハウや他地域とのつながりを活かし、新たな賑わいの創出や街づくりへ参画する人材の確保を図るなど、“西小山と他の地域とのつなぎ役”も担います。

西小山街づくり協議会の役割

街づくりにおける地域の代表者として、町会や商店会、事業者と連携・協力しながら、街づくりの進捗や住民意向の把握、各主体の街づくり活動に関する情報共有を地域全体で図るとともに、行政とも適宜連携し、“公民連携による街づくりの推進の中核”を担います。

行政の役割

整備プログラムに基づく施策を木造住宅密集地域整備事業など様々な制度を活用しながら着実に推進するとともに、町会・商店会・事業者・協議会等の街づくり活動を積極的に支援し、地域主体の街づくりを支えます。

また、東京都や近隣自治体、学校・保育園、関係機関等との調整を図り、街づくりの推進に必要な協力体制を柔軟に構築していく“主体同士のつなぎ役”を担います。

7-2 整備計画の実現に向けた推進体制

地区の将来像の実現に向けて、整備計画における施策を実行していくための体制について示しています。協議会は、地域のみなさまと情報共有・協力・連携しながら将来像の実現を目指します。目黒区へは、地区に関わる多様な主体と連携し、整備計画の実現に向けた調整を継続していきます。(図7-1)

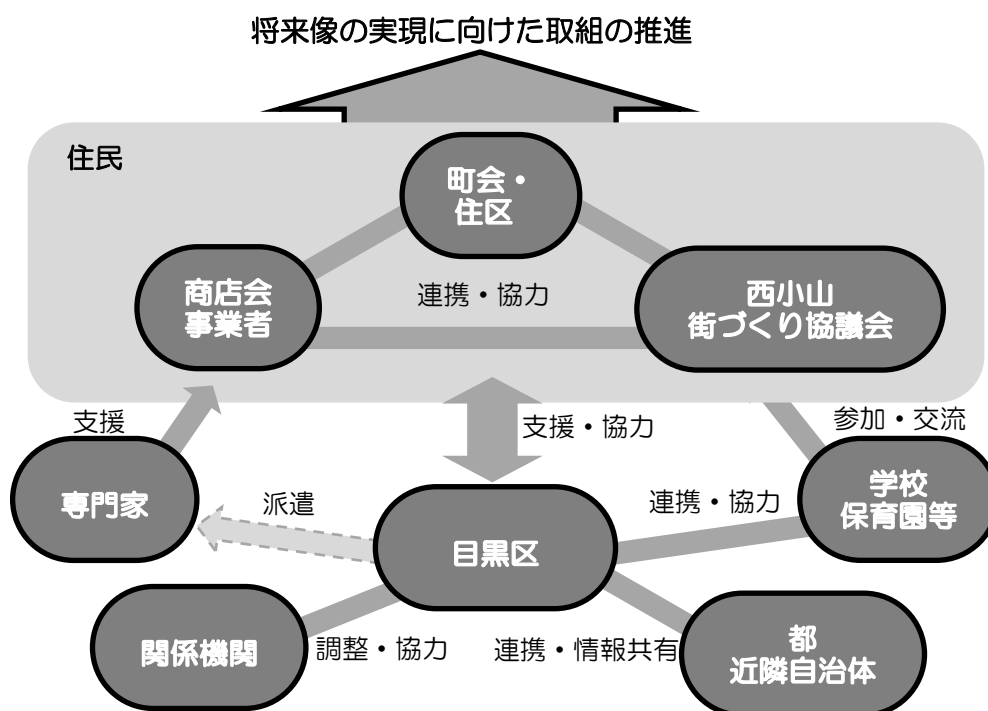


図7-1：推進体制図

7-3 整備計画の進捗管理

●PDCA サイクルによる戦略的な街づくりの推進

PDCA サイクルによって、西小山街づくり整備計画に基づく街づくりを実現するため、定期的に施策の進捗状況を評価し、適切に分析・評価をすることで、施策に位置付けた個別具体の事業の内容や事業に投じる財源や職員等を柔軟に見直します。

計画の進行管理は、社会経済状況の変化や取組の進捗状況に応じ、必要に応じて見直しを行います。

●「取組実績」と「住民の実感」の両面からの進捗管理

取り組む施策の中では、取組の実績が把握できるものと実績が把握しづらいものがあります。そのため、今後の施策の進捗管理は「取組実績」の把握に加え、西小山街づくり協議会が実施したアンケートのような手法で「街に暮らす人々の街づくりに対する実感」も把握することで、地区の将来像の実現を目指して着実に街づくりが推進できるよう進捗管理を行っていきます。

本書に掲載している地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。

(承認番号) (MMT 利許第 04-110 号)

西小山街づくり整備計画

発行 目黒区

編集 目黒区街づくり推進部木密地域整備課
〒153-8573

東京都目黒区上目黒二丁目19番15号

電話 03-5722-9657

FAX 03-5722-9672